



## 日本遠隔制御株式会社

**高い通信性能と操作性に  
世界中のトップモデラーも満足**

大空に自分の飛行機を自由自在に飛ばしてみたい。そんな夢の実現をトータルサポートするのが、日本遠隔制御のRC（ラジオコントロール）無線操縦機器だ。「RCフライトは天候や機体の状態によって大きく左右されます。それを制御するのが当社の無線操縦技術です。またRCは自分なりのカスタマイズを楽しみ、操縦技術を磨く。実に奥が深い大人が楽しめるホビーなのです」と久山昇二社長は語る。同社における主要製品はまず電波を送る「送信機」、それを受ける「受信機」、受けた電波を動きに変える「サーボモーター」、ヘリコプター等の姿勢制御を行う「ジャイロ」、そして「RCヘリコプター」が挙げられる。国内でプロポシステムとRCヘリコプター開発の両方を行っているのは同社のみ。つまり同社が提供するのハード、ソフトをはじめ機構部品に至る顧客ニーズの具現化といえよう。

### 宇宙開発でも活躍するRC技術

現在では、日本国内にとどまらず世界各国のラジコンファンやモデラー（模型製作者）に支持されるトップブランドとして世界で高いシェアを持ち、アメリカやドイツ等海外市場へも多く輸出。「日本においてはフライトエリアの減少等からフライトを楽しむ方が少なくなっています。しかし、もともと国内のファンに楽しさを知ってもらえるよう、各地で開催される業界イベントへ参加したり、自社開催のRCヘリコプター大会を毎年実施したりしています」と久山社長。また国内外の競技会では、専属フライヤーが輝かしい成績を収めている。実際のフライトから感じた意見を、製品づくりに反映させる姿勢は創業以来変わらない。「現在国内のRC業界での使用が可能となった2・4GHz帯プロポシステムにおいては、当社独自の国内専用システム『DSMJ』を開発しました。ノイズや電波干渉に強い同方式により、安全でさらにリアルな操縦が楽しんでいたいただけます」と久山社長の言葉通り、信頼の通信精度が自慢だ。

# 世界に君臨する ラジコン界のトップブランド



日本遠隔制御では、ラジコン以外に産業用の遠隔装置やロボット、宇宙開発事業にも携わっている。二足歩行のロボットの激しい動きにも耐えられる能力を持ち、かつ繊細な動きも可能にする高出力サーボモーターは、ロボットビルダーや研究用としても高い評価を獲得。また同社の遠隔操作の技術は、宇宙でも活躍している。東大阪宇宙開発協同組合の

人工衛星「まいど1号」プロジェクトに理事企業として参画し、衛星の姿勢制御分野の開発を担当した。久山社長は「今後は、こういった社会貢献とともに教育の分野にも力を入れていきたい」と語る。小学生や中学生にも組めるラジコンやロボットを提供することで、自分の手で何かを作る「ものづくりの楽しさ」を教えたいとのこと。現に大学ではロボット組立講座を開催するなど、同社を持つ先端技術は今後ますますそのフィールドを広げていくようだ。

### 主な事業内容

電子制御機器の製造・販売、ラジオコントロール装置・リモートコントロール装置・模型ヘリコプターの開発・製造・販売等



久山昇二さん  
代表取締役社長

日本遠隔制御株式会社

Company  
Profile

住所 / 〒577-0809  
大阪府東大阪市永和田2-2-12  
設立 / 昭和51年11月  
資本金 / 3,600万円  
従業員 / 49名（平成21年1月現在）  
TEL / 06-6732-0200  
FAX / 06-6724-0515

全国  
20

<http://www.jrpropo.co.jp/>